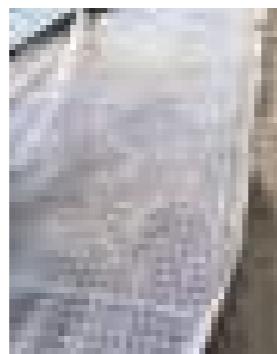


育苗ネットの効果確認試験



4月23日①



4月23日②



4月23日③



4月23日④

試験目的

シルバーポリトウに代わる育苗ネットの効果確認

試験作物
及び品種

水稻

試験資材
及び数量(規格)

らくら育苗ネット(3.0m×105m) 1枚

慣行資材

シルバーポリトウ

資材使用期間

4月20日～

試験区面積

315㎡

試験結果

- (1)作業性について(慣行品との比較)
展張作業は楽である。
- (2)作物の生育状況または、収穫への影響
慣行品と大きく差が出てきたため、途中でシルバーポリトウを上からかけた(写真のとおり)
- (3)資材の強度・耐久性・崩壊性について
不明。
- (4)促成・抑制効果について
普段よりも水をかける必要がある上に温度を必要とするため、ハウス内の温度を高め設定しても良かったかもしれない。
- (5)保温効果について
大きく差があり、シート状の方が良いと感じる。

モニター感想

なかなか芽だしができず、温度を確保することができなかった。そのため途中でシルバーポリトウを上からかける結果となってしまった。

ハウス内の温度をこれまでよりも上げて対応することで改善に向かったかもしれないが片側でしか試験しなかったため、もう片側に影響が出てしまうため断念した。

JA担当者の感想(生産資材課 石亀 氏)

試験品について、シートを剥がすことなく灌水できるというメリットがあったが、思っていたよりも乾きが早く、春の農繁期に何度も灌水するのは手間だと感じた。

慣行品との比較を行いたかったが、大きく差が出てきたためシルバーポリトウをかけていた。

今後の使用について

改良して欲しい。